

家族会の皆様へ

障害者支援施設つかわき
施設長 福永政和

新型コロナウイルス感染症への利用者様の感染について

厳しい暑さの毎日です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染症はこれまでに例のない爆発的な感染拡大をみせておりますが、とうとう私たちのつかわきでも、感染者を出してしまいました。基本的な感染対策に力を注ぎ、利用者さんにおいてはこれまで一人の感染者も出さずにおりましたので、大変申し訳なく思っております。

7月15日の朝の検温におきまして、利用者4名の発熱が確認されました。直ちに介護及び抗原検査を行ったところ2名の方が陽性反応、PCR検査においても陽性でありコロナ棟での生活を余儀なくされました。

以降、日中活動や食事、入浴等を制限し、就寝場所等においても状況を踏まえて対応してまいりましたが、蔓延を完全に食い止めることができませんでした。感染力の強さにも驚いておりますが、日々、2～9名の感染者が確認され、わずか1週間で27名の利用者の感染が確認されている状況です。

現在、コロナ専用としてグラウンドに建設しておいたコロナ棟（2棟）と敷地内隅にあるさくらんぼ班活動棟を感染者用として生活していただいております。職員についてもコロナ班と管理棟班の2班体制を編成し、職員同士の接触等も避けながら支援を続けている状況です。利用者の皆様には大変窮屈な生活となっており、大変心苦しい思いです。幸いにして、ワクチン3回接種あるいは4回接種を済ませておりましたので、これまで高熱が出たり重症化されたりする利用者さんはいらっしゃいません。今後、感染から10日間が経過し、快方へ向かう方々については管理棟B棟へ移動して生活していただき、状況を踏まえながら元に戻していこうと考えております。

今後も日々の支援の中で、感染対策を徹底するとともに発熱や咳、食欲不振、倦怠感などの健康観察において変化が見られたら直ちに対処してまいります。しばらくは、家族会の皆様方にも御心配と御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、例年でありましたら、夏の帰省等を楽しみにされていた利用者さんやご家族も多いかと思いますが、施設内でのコロナ感染が収束するよう全力を尽くしてまいりますので、しばらくの間、帰省や面会を自粛していただきたいと思っております。